

1 活動の背景

新たな担い手による経営の確立と地域活性化

～ 新たな仲間と地域を守ろう ～

対象：栗山町日出地域（14戸）

- (1) 日出地域：平均経営面積5.3ha
個人経営は施設園芸（トマト、アスパラガス、メロンなど）が中心。
- (2) 経営主平均年齢は59歳、14戸中新規参入者が5戸、後継者有りは1戸。
- (3) 地域の農地を守ることを目的に、2戸による協業法人が令和2年に設立。
- (4) 山間地にあるため作物の鳥獣被害が多く、シカ柵の管理体制も不十分。
- (5) 地域の課題：新規参入者・新設法人の経営安定化と定着、条件不利地の透排水対策、シカ等による農作物被害の軽減、シカ柵管理体制の整備

2 活動の経過

新規参入者に対する支援

- ・ 収量・品質の向上に向け、基本技術の習得と実践、ほ場整備に焦点を当てて支援。
- ・ 個別巡回、冬期研修会を実施。巡回にはJAも同行。
- ・ 適正施肥、ほ場の排水対策、病虫害の耕種的防除・適期防除を重点的に助言。
- ・ 農産加工の相談を受け、高付加価値化主査とともに情報提供を行った。



法人に対する支援

小麦の安定生産

- ・ 適期は種、ほ場の排水対策、肥効調節型肥料の導入について支援。

水稻省力化栽培の導入

- ・ 労働負担の軽減を目標に密播中苗栽培の導入を提案、栽培技術の情報提供を実施。

有害鳥獣対策について

- ・ 巡回時に被害実態を聞き取り。
- ・ 懇談会を開催し、被害状況の共有と意見交換を実施。



3 成果の具体的内容

新規参入者に対する支援

農業者名		A	B	C	D	E	
就農年度		H26年	H29年	H31年	R3年	H27年	
主な作付け品目		きゅうり・アスパラガス	メロン・かぼちゃ	トマト・花き	トマト・アスパラガス	トマト・アスパラガス	
目標事項と取り組み結果	土壌改善	適正施肥	○	○	○	○	
		作付け後の土壌診断の実施、施肥内容の検討					
	排水対策	○	○	○	○	—	
		明きよ	明きよ・パラソイラ	暗きよ	緑肥・暗きよ	(排水性良好)	
	病害虫対策	耕種的防除	○	○	○	○	○
		除草・湿度管理		除草・湿度管理	除草・湿度管理	除草・湿度管理	除草・湿度管理
適期防除		○	○	○	×	○	
総合評価		○	○	○	△	○	
備考		山菜加工品を試作		トマト・アスパラガスで灰色かび病が多発			

※評価 適正施肥・排水対策 ○実施 ×未実施 —該当無し
 耕種的防除・適期防除 ○病害虫被害無し ×病害虫被害有り

目標事項にほぼ取り組むことができた

作柄は概ね良好

山菜加工品を試作

法人に対する支援

小麦の安定生産

令和3年産

- ・適期は種
- ・肥効調節型肥料 導入

その結果

排水不良ほ場で特に低収量だった

令和4年産

- ・作付品目変更
- ・心土破碎
- ・適期は種 実施

水稻省力化栽培の導入

水稻作付全面積で密播中苗栽培導入

その結果

田植日数7日→5日は種作業時間短縮
収量・品質は平年並

密播中苗で春作業に少し余裕ができたよ



鳥獣害被害について

被害状況の共有ができ、意識向上が図られた

シカ柵運営の改善につながった



4 今後の課題と対応

新規参入者に対する支援

- ・ 関係機関と連携し、個別巡回・研修会を継続。
- ・ 病害の発生した圃場について、栽培環境の改善に向けた取り組みを支援。
- ・ 農産加工について、支援継続。

法人に対する支援

- ・ 秋まき小麦の安定生産に向けた支援を継続。
- ・ 水稻省力化栽培の安定化へ向けた支援。

鳥獣害被害について

- ・ 被害状況の把握、情報共有と意識向上を図り、取り組みを前進。